

東日本大震災

わす

れな

かね

勿忘の鐘



Shalt not forget disaster-hit area

2019年3月11日(月)午後2時46分



2018年3月11日午後2時46分 岩手県陸前高田市・本稱寺「勿忘の鐘」

私たちの心に深く刻まれた「2011年3月11日」。

大津波によって全壊となった岩手県陸前高田市・本稱寺の佐々木隆道さんは、「忘れないでほしい」との願いを込めて、2012年3月11日午後2時46分、土中から発見された梵鐘を撞き、法要を勤められました。

この思いを受けて、真宗大谷派仙台教区では、「この震災を心に刻み、犠牲者に思いを馳せ、今後も復興と支援の思いをつないでいきたい」という願いのもと、全国各地それぞれの場所で地震発生と同じ時刻に「勿忘の鐘」を撞き、法要を勤める呼びかけを続けております。

東日本大震災から、今年で8回目を迎えます。

本年も、震災の記憶を心に刻む機縁となることを願いまして、勿忘の鐘及び追弔法要をお勤めいたします。

東北別院「勿忘の鐘・法要」

日時：2019年3月11日(月)

①勿忘の鐘 午後2時46分～

②法要・法話 午後3時～

会場：東北別院本堂

※どなたでもお参りいただけます。
※お越しの際は、公共交通機関をご利用ください。

勿忘の鐘 特別展 児玉成一写真展 ※入場無料

期間：2019年3月9日(土)～22日(金) 午前10時から午後4時まで

会場：東北別院本堂 ※勿忘の鐘・法要中は、写真展のご観覧は休止いたします。



児玉成一氏プロフィール

1951年、東京都大田区生まれ。広告制作会社アップルのチーフカメラマンとして国内のメジャー企業の仕事に携わった後、1985年にフリーカメラマンとして独立。その後、著名人の撮影、有名海外ブランド、国内の大手企業の広告写真を撮影するほか、家庭画報を始めとする数々のファッション誌の仕事でも活躍。現在、真宗大谷派首都圏教化推進本部の広報誌「サンガ」掲載写真の撮影等を行うほか、東北へは東日本大震災発生直後から訪れ、保養事業などの被災地支援活動の記録撮影を現在まで続けている。

【お問い合わせ】

真宗大谷派(東本願寺)仙台教務所・東北別院
宮城県仙台市宮城野区小田原1丁目2-16

☎022-297-2824 <http://www.sendaikyouku.net>

【アクセス】

*JR仙台駅(東口)から徒歩約10分

*市バス、宮交バス「小田原1丁目」

バス停降りてすぐ

